

# そこが聞きたい!! 一般質問

一般質問のようすは、インターネットで配信をしています。2次元コードから、該当議員の動画へアクセスできます。(パソコンやスマートフォンで視聴できます。閲覧可能期間は2年間です)

一般質問は、議員が市政全般について、自由なテーマで市長に質問・政策提言を行うもので、市民の声を市政に届けるものです。6月定例会では、11名の議員が一般質問を行いました。ここでは、質問と答弁の一部をご紹介します。なお、質問の内容は、質問した議員が作成しています。【インターネット録画配信もご覧ください】

## コロナ禍を踏まえた【減免】・【防災】

大沢 えみ子 (日本共産党)



録画配信の  
2次元コード

### ◆困ったときには減免制度の利用を

コロナ禍を踏まえ、市民が利用できる減免制度にはどのようなものがあるか。納付書の送付の際に減免制度があることを周知してほしいがどのように対応するのか。

**副市長** 減免制度を設けているのは、個人市民税、固定資産税・都市計画税、国民健康保険税、後期高齢者医療保険料、介護保険料、国民年金保険料、保育料及び市営住宅の家賃で、市公式ホームページや広報さやま6月10日号に特集記事を掲載し、今後も適宜周知を図る。

### ◆これからの風水害に備えて

水害時の避難所について、「3密防止」対策を  
その他のテーマ▶不要・不急の事業の見直し▶DV・虐待防止のための一時避難場所▶災害時の備品の確保

とった場合、狭山市では、想定される避難者数に対して何名が収容できるか。今以上に避難所を確保する必要があると考えるが見解は。

**危機管理監** 指定避難所の収容人数は4,516人で、感染症の拡大を防止するため避難者同士の距離を確保すると、収容人員の2分の1となり、指定避難所の収容人数は2,258人である。ここ数年の最大避難者数を記録した、昨年台風19号の避難者1,458人と比較しても不足は生じないと考えている。ただし、近年は自然災害が激甚化する状況があるため、新たな避難所を確保し、開設するよう努めていく。



3密  
予防の  
避難所  
の  
イメージ  
(岐阜県)

## 公人である市長のSNSによる情報発信について

金子 広和 (はつらつ創造)



録画配信の  
2次元コード

### ◆市長個人のSNS、市のSNSと同様の写真や情報の投稿が多数

投稿内容や写真から判断すると、個人ではなく『狭山市長』としてのSNSと呼べる内容が多いのでは。さらに、利用中のSNSの特徴として、投稿された内容が「友達」のページに自動反映されることから、「市長は、一部市民(友達)に向け優先的に情報発信しているのではないかと、市民からご指摘をいただいている。

市政運営に関する情報を、市長個人のSNSから特定の市民(友達)に向け発信しているように見えるが、どう考えているのか。

**市長** 私のSNSは、誰でも閲覧できる状態になっており、ご質問にあるような特定の個人に向けて発信しているものではない。現在の状況や今

後の施策の方向性を示す事は、市民に市政への理解や安心感、共感を得るために、また、様々なご意見を頂くという点でも極めて重要であると考え、積極的に情報を発信してきた。

### ◆災害に最適な対応が取れる体制を

千葉県は、昨年台風第15号等災害対応を検証し、知事の行動を『適切とは言えず』と批判。市長も、これまでの風水害発生時等に市役所を離れていることもあると認識しているが、その行動は適切か。

**市長** 千葉県の検証報告書は、知事が公務外の用事や私的な視察を理由に災害対策本部等を離れたことを問題にしている。災害対応において市民の安全を守るために必要な情報を得るための私の行動とは異なるものと考えている。



SNSの活用

## 新型コロナウイルスへの対策と支援

土方 隆司 (新政みらい)



録画配信の  
2次元コード

### ◆今後の市政運営は

新型コロナウイルスの感染拡大は、日本に深刻な影響を与えたが、終息後は速やかに回復に向けて取り組んでいく必要があると考える。

しかし、いつ終息するのかは誰もわからない上に、第二波も懸念されることから、今後も非常に厳しい行政運営を余儀なくされると考えるが、今後の市政運営について市長の所信を伺う。

**市長** まずは、新型コロナウイルス感染症をはじめとする様々な感染症や、自然災害などから市民の命を守ることを第一とし、生活や経済の維持にかかる事業を優先して実施していかなければならない。

特に、国から交付される新型コロナウイルス対策関係の支出金、埼玉県による予算措置などを他のテーマ▶観光事業の今後について▶学力向上について

確に把握し、財源の確保につとめ、スピード感も上げて実施していく。

### ◆市内事業者への支援は

影響を受けた市内業者に対し、どのような支援をしていくのか。

**環境経済部長** 苦しい資金繰りを強いられていることから、国や県などの融資等の支援策を紹介することから、本市の中小企業者と個人事業主向けの制度融資である緊急特別資金について、融資限度額の増額や据置期間の延長など、制度の見直しを行った。



迅速に進められた  
特別定額給付金事業

## 狭山市まち・ひと・しごと創生総合戦略の評価と今後!

内藤 光雄 (新政みらい)



録画配信の  
2次元コード

### ◆人口減少対策

転入者数と合計特殊出生率と出生数の状況は。  
**総合政策部長** 令和元年の転入者数は6,198人であり、目標の7,200人を達成できなかった。平成30年の合計特殊出生率は1.18であり、目標値の1.36を下回る結果となった。

### ◆総合戦略の評価と今後の計画

①各種数値目標の達成状況は。  
②延長する1年間で優先する項目とその後の継続性は。

**市長** ①19の数値目標のうち、達成したものが6項目、総合戦略の策定時よりも数値が上向いたものが11項目、数値が下がったものが2項目であった。

②人口減少を抑制していく必要があるため、基本目標2の「新しいひとの流れをつくる」と基本目標3の「若い世代の結婚、出産、子育ての希望をかなえる」施策を優先して取り組む必要がある。令和3年度からスタートする第4次狭山市総合計画の後期基本計画と一体のものとして第2期の総合戦略を策定することで、実効性を高め、継続性を担保していく。



狭山市まち・ひと・しごと創生総合戦略

その他のテーマ▶がん検診受診率の向上による早期発見・治療で医療費削減および罹患者と家族の負担軽減

ここに掲載していない一般質問の概要は、ホームページでご覧いただけます。議会事務局にご連絡ください。

04-2953-1111 内線3313